

# 子どもたちの将来は？

世界を恐怖に陥れている「コロナ禍」は、実は環境破壊や気候変動と関連があるという。コロナ対策は目下の最重要課題だが、それを理由に気候対策が遅れてしまえば、気候危機による豪雨や大型台風などで私たちの命を始めとする地球上の生命は脅かされ続けることになりかねません。



◎地球環境が**後戻り**できない**限界**に近づいている。未来に危機感を抱く声は世界に広がり、**脱炭素**や、生態系を守るために**自分たちの暮らしを変える**動きも進む。地球環境と社会の**転換点**、私たちは**どちらを先に迎える**のだろうか。

## ★CO<sub>2</sub>排出許容量、残り「8年分」～暮らし変える動き

日本は中国、米国に次ぐ世界5位の**CO<sub>2</sub>排出国**だ。生産ベースでは製造や運輸、オフィス関連などが**8割**を占める。企業からの排出量の多くは私たちの**消費行動**に関わっている。

- 日本の温室効果ガス排出量の**6割以上**は生活関連である。住まい、移動、食など**1人当たりの排出量**がCO<sub>2</sub>換算で**年7.6トン**である。
- 食に関する排出のうち4分の1が**肉類**だ。家畜には大量の飼料・水が必要で、牛のげっぶには温室効果の高い**メタン**も含まれる。そこで～

◆**環境負荷を減らす**手立ての一つとして「**培養肉**」がある。培養肉は温室効果ガス、水の消費をともに**最大96%減らせる**という海外の研究もある。

◆国内では大豆などの**植物性タンパク質**を使った「**代替肉**」の商品も登場、採食主義（ベジタリアン）ではないが**肉を食べる量や回数**を減らす「**フレキシタリアン**」も増えている。

◆食に関するサイト「**フレンバシー**」によると、週に1日以上、意識的に**動物性食品を減らす**人は**約17%**にのぼるといふ。今号は朝日新聞デジタルより

## ★カーボン・バジェット(炭素予算)～CO<sub>2</sub>排出許容量、残り「8年分」

気候危機の主な原因は私たちが出す温室効果ガスで、CO<sub>2</sub>が4分の3を占める。大気中のCO<sub>2</sub>濃度は410ppmと産業革命前(280ppm)の約1.5倍になり、最高値を更新。

- IPCCが18年に公表した1.5℃特別報告書によると、世界は産業革命以来17年までに**2兆2千億トン**のCO<sub>2</sub>を排出。
- 気温上昇を**1.5℃未満にとどめる**ため(すでに1.1℃)には、今後のCO<sub>2</sub>排出を**4200億トン未満**にする必要がある。
- 今のペースだと**8年分**しかない計算になる。10 20 30 40

※(炭素予算)とは、人間活動を起源とする**気候変動**による地球の**気温上昇**を一定の**レベル(1.5℃)**に抑える場合に想定される、温室効果ガス(ここではCO<sub>2</sub>)の**累積排出量**(過去の排出量と将来の排出量の合計)の**上限値**をいう。

- CO<sub>2</sub>排出上限 **2兆6200億トン**
- 2017年までの累計排出量は、**2兆2000億トン**

## ★地球温暖化(気候変動)クイズ

○×でお答えください。答えはどこかにあります。

- 1、温暖化の解決策は、温室効果ガスを減らすことである( )
- 2、温室効果ガスの中で最も量が多く、大気中の滞留時間が長いのは二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)である( )
- 3、水蒸気やオゾンには温室効果は全くない( )
- 4、今年のCOP26は、来年に延期された( )